



Data

煙樹の家

- 敷地面積／654.77㎡
- 延床面積／481.58㎡
- 構造／鉄骨造
- 構造設計／前川構造企画
- 工事期間／2012年10月～2013年7月
- 施工／ケイズ

Instruments

- 厨房機器／
- 水栓：ハンスグローエ オープン：ガゲナウ
- ガスコンロ：ガゲナウ 換気扇：アリアフィーナ

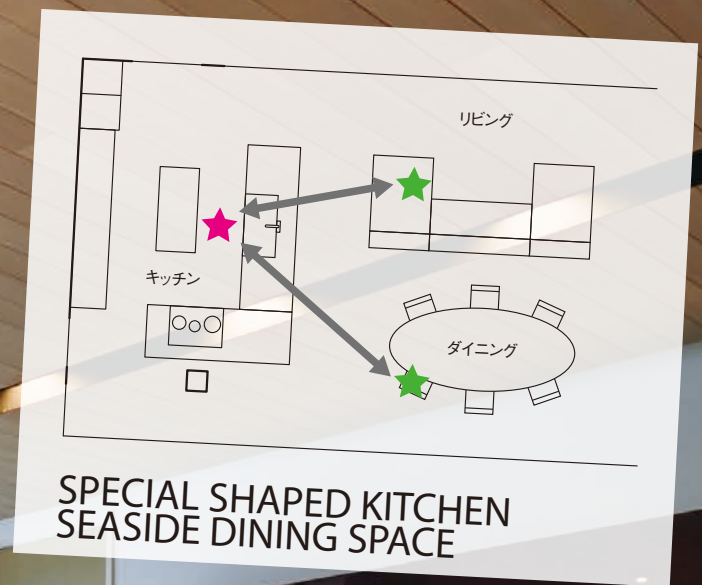


1 海に向かう南西は全面開口に。LDKとテラスが一体となる開放的な空間。構造を支える太い柱にはタイルを貼り、その前にコンロを設置している。2 景色を生かす淡い色合いを内装に用いている。床は大理石タイル、天井と庇はメルサワ材。ダイニングを開口側に配し、食事の時間も海を感じられるような構成に。3 外観。鉄骨造の2階建ての住まい。4 空と海に近いタイル貼りのテラス。大きな開口には三重ガラスを用いて、台風対策も万全に。

眼前の水平線を味わう
回遊性に優れたプラン
和歌山県の海岸線に建つこの家が最も美しく輝く時間、それは太陽が沈む夕方。大きな開口の先にオレンジに染まる雄大な海が広がる。設計を手がけた建築家の中道哲也さんは、1階を水平線がきれいに見えるレベルまで持ち上げ、眺望が映えるように。屋外家具のある広いテラスに囲まれたLDKをつくり上げた。開口のある南西には、L型とI型を組み合わせたオープンキッチンがある。ホームバーティをよく開く夫妻がキッチンハウスにオーダー。リビングと海に面するL型に水まわりと火元を配し、料理をしながらも会話を楽しめるように。小島のようなI型の台は主に収納の役割をもち、盛り付けなどの作業場に。パントリーと接する壁面は器やツール類を飾

るエリア。プランニングでは、大人数がキッチンに入ることのできる動線が重視された。同時に、ひとつながりのLDKを美しく保つための収納も大きくとられている。この家では、すべての部屋から鮮やかな海と夕景が眺められる。2階の幅約3mのテラスはもうひとつのリビング。海外のリゾートにいるように、波の音を間近に感じながら食事や読書の時間を過ごせる場所。LDKとテラスは大理石タイル、天井と庇は広葉樹の床メルサワ材と、仕上げを同じにすることで、外部と内部をより密接につなげている。訪れたゲストはキッチンからリビング、ダイニングからテラスへと自由に動き、絶景を味わう。場所を固定しない回遊性の高さがこの家の魅力。「家を訪れた人をもてなしたい」という夫妻の思いが生んだ、記憶に残るロケーションハウスだ。

手前のL型、中央の型、背面収納を組み合わせた広大なキッチン。面材の色は娘さんのひと言でパープルに。鏡面仕上げの扉に窓越しの海が映り込む。



L型+I型の大きなキッチン

海に向かう食事の場

思わず引き込まれるダイナミックな海の景色。ロケーションを存分に生かした家のキッチンは、集いの場としてつくられている。ダイニングとなるのは、海に面したすべての場所。訪れる人に感動を与える、開放的かつ堂々とした食事の場が広がっている。

煙樹の家 | 設計／中道哲也 スタジオパトスリー | キッチン製作／キッチンハウス | 所在地／和歌山県美浜町 | 家族構成／夫婦 | 撮影／長岡浩司